

授業科目 医療福祉サービス評価法Ⅰ

社会福祉学科 専門

【担当教員名】 一戸真子	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

ヘルスケアサービスは原則として利用者中心に提供されるべきであるということはいまも言うまでもない。しかしながら、ヘルスケアサービス提供者にとってもケアの提供においては無理のない現実的な環境が提供されていなければならない。開かれた質の高いヘルスケアサービスにはどのような視点が重要であるかについて理解を深める。具体的には、

- 1) 「評価すること」、「第三者」という存在の意義を理解する、
- 2) 「質」を測定するということの意義を理解する、
- 3) 利用者中心のヘルスケアサービスはどうあるべきかについて検討する。

以上のことを踏まえ、医療福祉サービス評価法Ⅰでは「医療サービス評価法」について学習することを本講義の目標とする。

<学習目標>

1. 医療を取り巻く環境を理解する。
2. 医療サービスにはどのようなものがあるかについて理解する。
3. 医療サービスを評価することにどのような意味があるかを理解する。
4. 医療サービス評価方法について理解する。
5. 医療サービス評価尺度について検討する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	医療の質評価の歴史		講義
2	日本における医療の質評価への取り組みの経緯		講義
3	日本医療機能評価機構の設立と役割		講義
4	医療機能評価機構における審査方法		講義
5	書面審査		講義
6	訪問審査		講義
7	ストラクチャー⇒プロセス⇒アウトカム評価		講義
8	評価領域		講義
9	評価者		講義
10	患者満足度		講義
11	医療サービス評価に関する海外の動き-JCAHO, HQS他		講義
12	医療サービス評価についてのグローバルスタンダード-ISQua, JCI		講義
13	医療サービス評価方法についてのまとめ		講義とディスカッション
14	医療サービス評価と福祉サービス評価の比較		講義とディスカッション
15	利用者中心のヘルスケアサービス評価についての検討		講義とディスカッション

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に指定しない。			
参考書	随時紹介する。			
その他の資料	必要に応じて授業内に配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
①出席、②授業内レポートや積極的な参加度、③期末試験の成績の総合的評価	本科目に関する内容は現在動きの激しい分野であるので、政策や医療・福祉をめぐる社会動向を把握するように心がけること。